

Lecture 授業No.99 教科書P.158

T.Q.「ジャコバン派の崩壊とはどういうものか？」

向出 研司：石川県立寺井高等学校
地歴公民科教諭

直前予習 T. A. キーワード確認

教科書 P.158

T.Q. 「ジャコバン派の崩壊とはどういうものか？」

1. 民衆
2. 対仏大同盟
3. ロベスピエール
4. 封建地代の無償廃止
5. 断頭台(ギロチン)

クリックで全て



今日の授業ラインナップ。

1. ジャコバン派の「グループ」独裁
2. ロベスピエールの「個人」独裁
3. テルミドールのクーデタと総裁政府

④ ジャコバン独裁

(1) 政策

1 93年憲法 [共和政、男子普選=ルソー的平等の強調]

2 封建的貢租の無償廃止→多くの自作農(今も)発生

but 土地を得て農民が保守化=A

3 最高価格令... 下層民は支持

but ブルジョワが不満=B T.Q.「ジャコバン派の崩壊とは
どういうものか？」教科書P.158

4 徴兵制...国民皆兵の義務兵制

5 革命暦 ex.熱月(七月) ∴合理性の重視 ※1

(2) 恐怖政治(1793. 6月~94. 7月)

公安委員会(執行) ← [保安委員会(警察)
革命裁判所

cf. 旧ジロンド派のギロチン刑 ※2

(3) ロベスピエールの独裁

← 左派のエベールと右派のダントンを処刑 ※3

(3) **ロベスピエール**の独裁

← 左派のエベールと右派のダントンを処刑

——— ここから

(4) 1794. 7月、**テルミドールのクーデタ**でジャコバン派崩壊

∴ { 戦況の好転
AとBで支持者が減少
ロベスピエールへの不満

T.Q.「ジャコバン派の崩壊とは
どういうものか？」 教科書P.158

⑤ 革命の終了

(1) **95年憲法** [共和政、制限選挙、二院制]

91年憲法に back ※4

(2) **総裁政府**...「生き延びた」旧ジロンド派中心

5人 ∴ 独裁をさける

but 不安定 ← 右: 王党派の反乱

← 左: **バブーフの反乱** (1796、未遂)

※T. A. まとめスライドへ

...私有財産制の廃止をめざす ※5

最後のスライドはここまで!

革命暦(共和暦)	西暦
ヴァンデミエール(葡萄 ^{ぶどう} 月)	9～10月
ブリュメール(霧月)	10～11月
フリメール(霜月)	11～12月
ニヴォーズ(雪月)	12～1月
プリュヴィオーズ(雨月)	1～2月
ヴァントーズ(風月)	2～3月
ジェルミナル(芽月)	3～4月
フロレアル(花月)	4～5月
プレリアル(草月)	5～6月
メシドール(収穫月)	6～7月
テルミドール(熱月)	7～8月
フリュクティドール(実月)	8～9月

クリック①→②:
「試験に出てくる」
革命暦の月名

↑解説 1793年国民公会が採用した革命暦(共和暦)は、1792年9月22日、共和国成立の日を紀元第1日とし、キリスト教の時間枠からの脱却をめざした(時間の革命)。1806年に廃止。

ギロチン(断頭台)で処刑された人々 (の一部)



↑ ルイ16世
(1754~93)



↑ マリ=アントワネット
(1755~93)

クリックで、
ギロチン(模型)



←映画「ダントンの」
処刑場面(3m30s)



→ ダントン
(1759~94)



↑ ロベスピエール
(1758~94)

医師ギョタンの提案したギロチン(断頭台)は、多くの人々の処刑に使用され、恐怖政治の象徴となった。

～「ライバル世界史」～

※3



VS



↑ **ロベスピエール**(1758～94) ジャコバンの山岳派指導者で恐怖政治を断行。テルミドールのクーデタで処刑。

↑ **ダントン**(1759～94) 山岳派でありながらジロンド的傾向を示したためロベスピエールと対立、処刑された。

クリック①:
「ルソー的な平等」を追求した
ロベスピエール

クリック②:
「ロック的な自由」を重視した
ダントン

クリック①: 93年(ジャコバン)憲法と95年(復活ジロント)憲法の共通点

クリック②: 91年(フイヤン)憲法と95年(復活ジロント)憲法の共通点

※4

	1791年憲法 (1791.9.3)	1793年憲法 (1793.6.24)	1795年憲法 (1795.8.22)
制定	国民議会	国民公会	国民公会
政体	立憲君主政	急進的 共和政	ブルジョワ 共和政
議会	立法議会 (一院制)	国民公会 (一院制)	五百人会・元老院 (二院制)
選挙	間接・ 制限選挙	男性普通選挙	間接・ 制限選挙
特徴	自由・所有・圧政への抵抗など人権宣言を含む	教育権・社会保障・労働権など社会的権利も規定	独裁を排除するため 権力を分散 (5人の総裁)



クリックで、
バブーフの肖像

※5

バブーフは新聞「**人民の護民官**」を発刊、同時に**古代ローマの護民官グラックス兄弟の名を取って「グラキウス＝バブーフ」と自称した。**

グラックス兄弟は、**公有地の占有面積を制限するリキニウス・セクスティウス法の復活を主張して殺害された人物であった。**
平等社会を目指す思想と、改革に命を賭ける覚悟とを示すため、バブーフは自らを彼らになぞらえたと思われる。

Lecture 授業No.99

T.Q.「ジャコバン派の崩壊とはどういうものか？」

ジャコバン派は封建的貢租の無償廃止を宣言したが農民が土地を得て保守化し、最高価格令などの統制経済に商工業者は反発した。政治ではグループ独裁からロベスピエールが個人独裁を開始した。戦時体制であるとして国民は恐怖政治を受け入れていたが、戦況が好転すると国民の不安や反感が強くなり1794年7月、テルミドールのクーデタでとうとうジャコバン派も崩壊した。